

# 業績説明会資料

## 経営の現況について

2010年5月27日



# 事業運営の基本的な考え方 (2010中期経営計画基本方針)

基幹事業の収益力強化

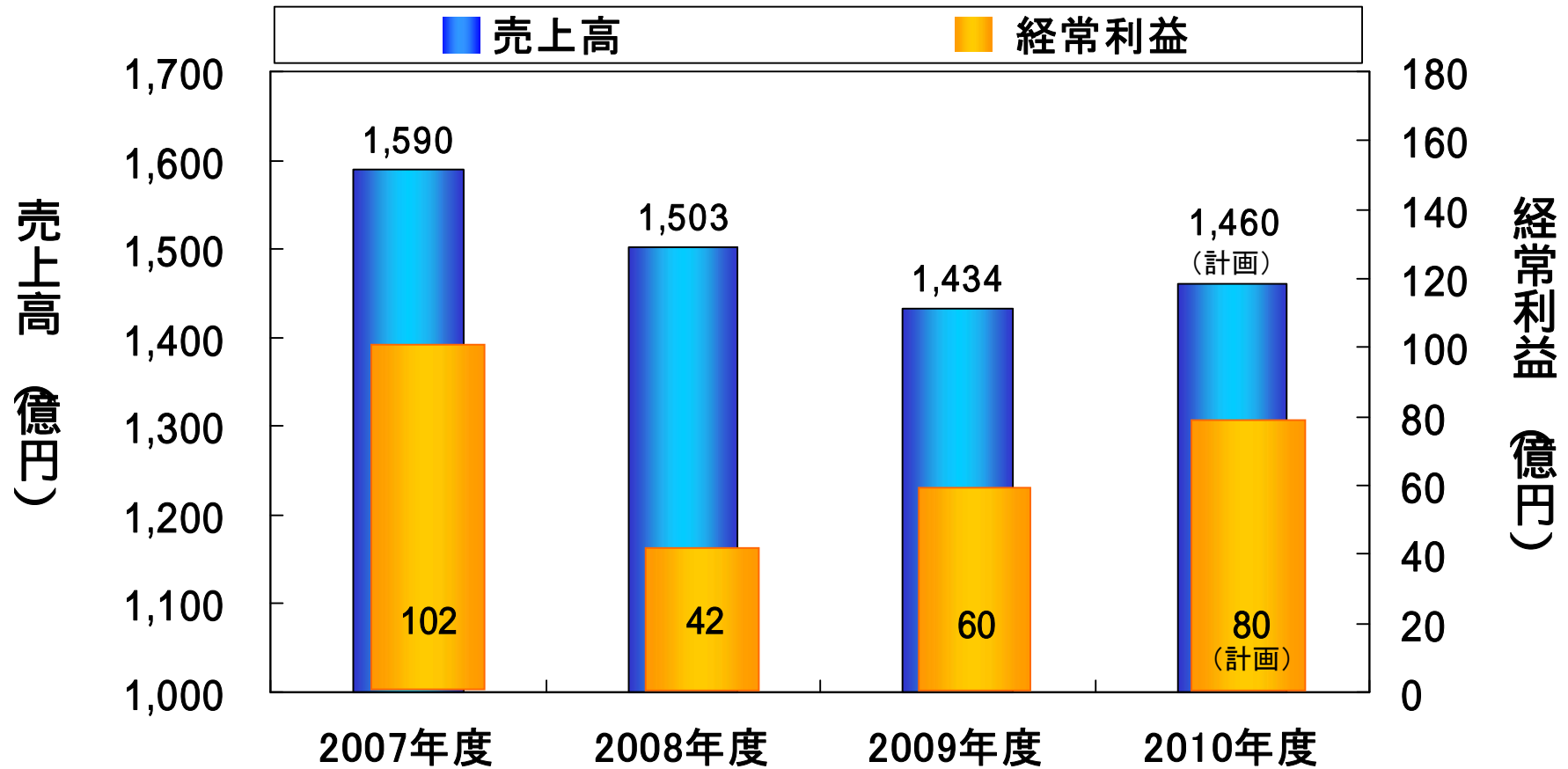
新規事業の成長促進  
(LS、DDS、電材)

海外展開の加速

次世代新事業の創出

## 新しい価値の創造

# 売上高・経常利益の推移・計画



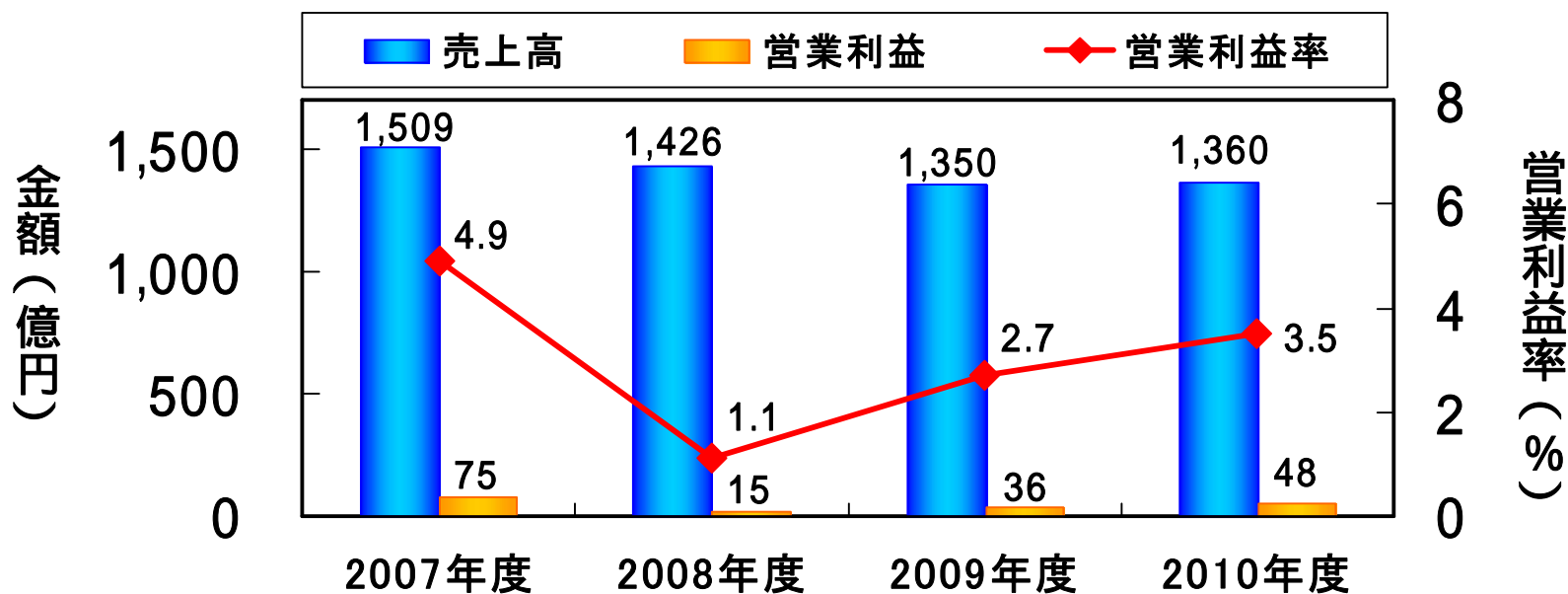
## 2010年度 想定事業環境

需要動向 国内：回復は緩やか

海外：新興国は高成長を維持

		2009年度 (実績)	2010年度 (想定)
パーム油価格 (FOBマレーシア)	US\$/MT	732	800
国産ナフサ価格	千円/KL	41	50
為替レート	円/US\$	93.0	90.0
	円/EUR	131.1	130.0

# ①基幹事業の収益力強化



## 2009年度の状況

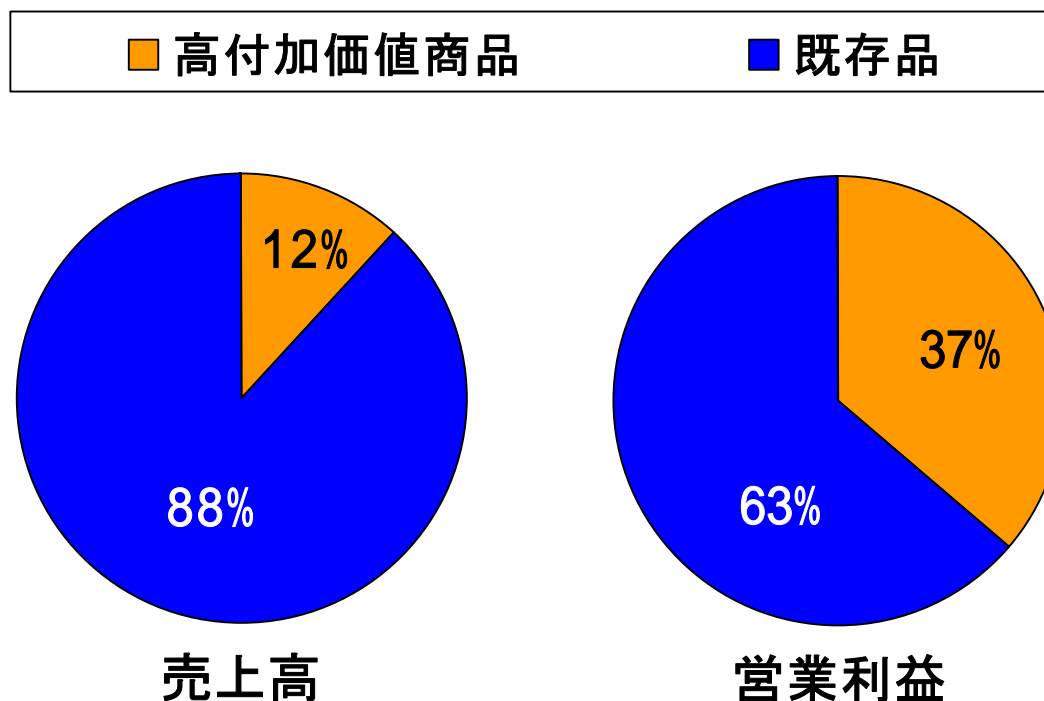
- ①原価低減・在庫圧縮
  - ②適正価格の維持
  - ③不採算品の整理・統合
- 高付加価値商品の拡販と  
新規市場開拓

## 2010年度の施策

- 高付加価値化の加速
- ②原価低減・生産性向上
- ③アジア市場での拡販

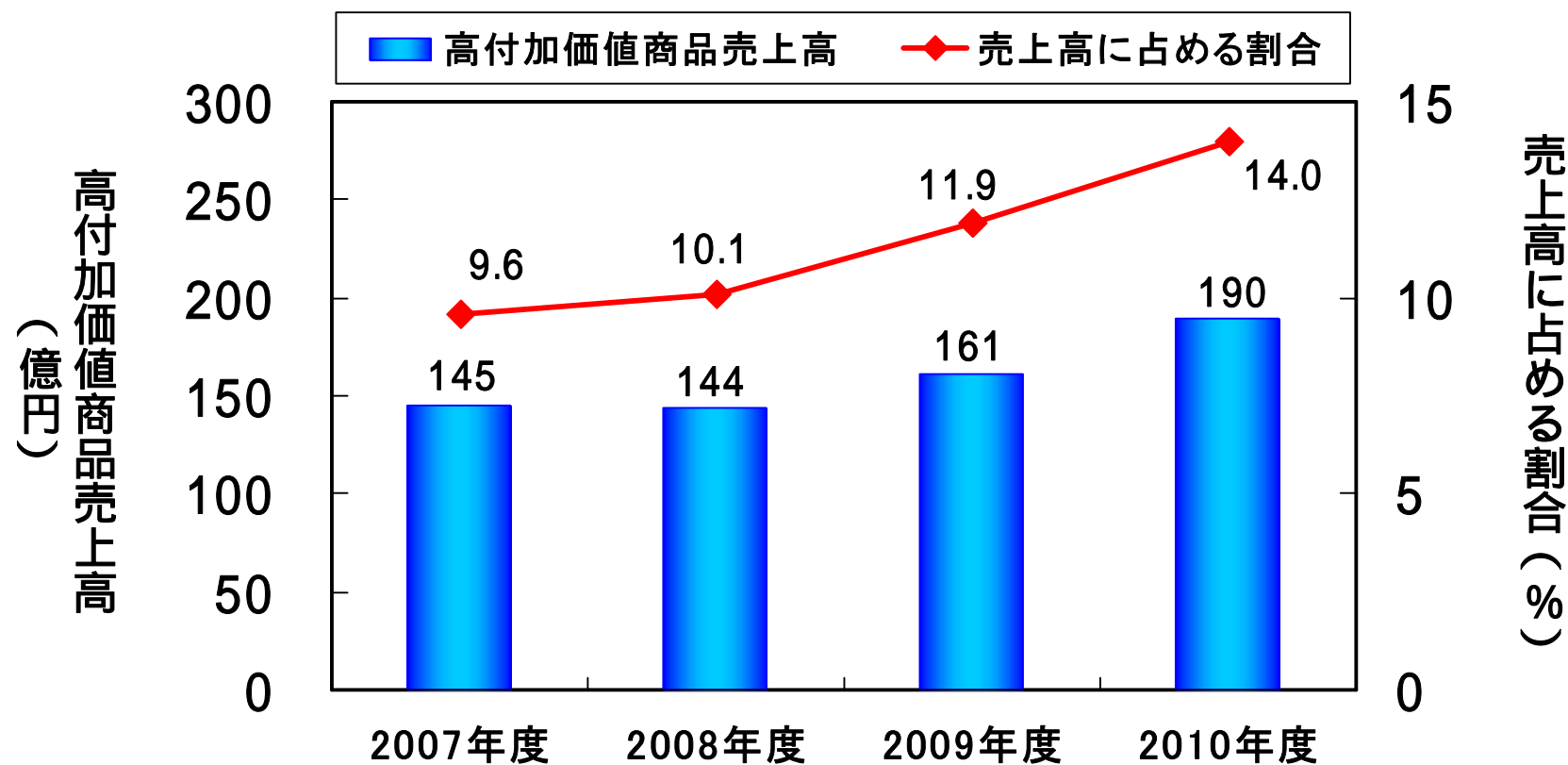
## ①基幹事業の収益力強化

# 2009年度(基幹)高付加価値商品の売上高・営業利益



## ①基幹事業の収益力強化

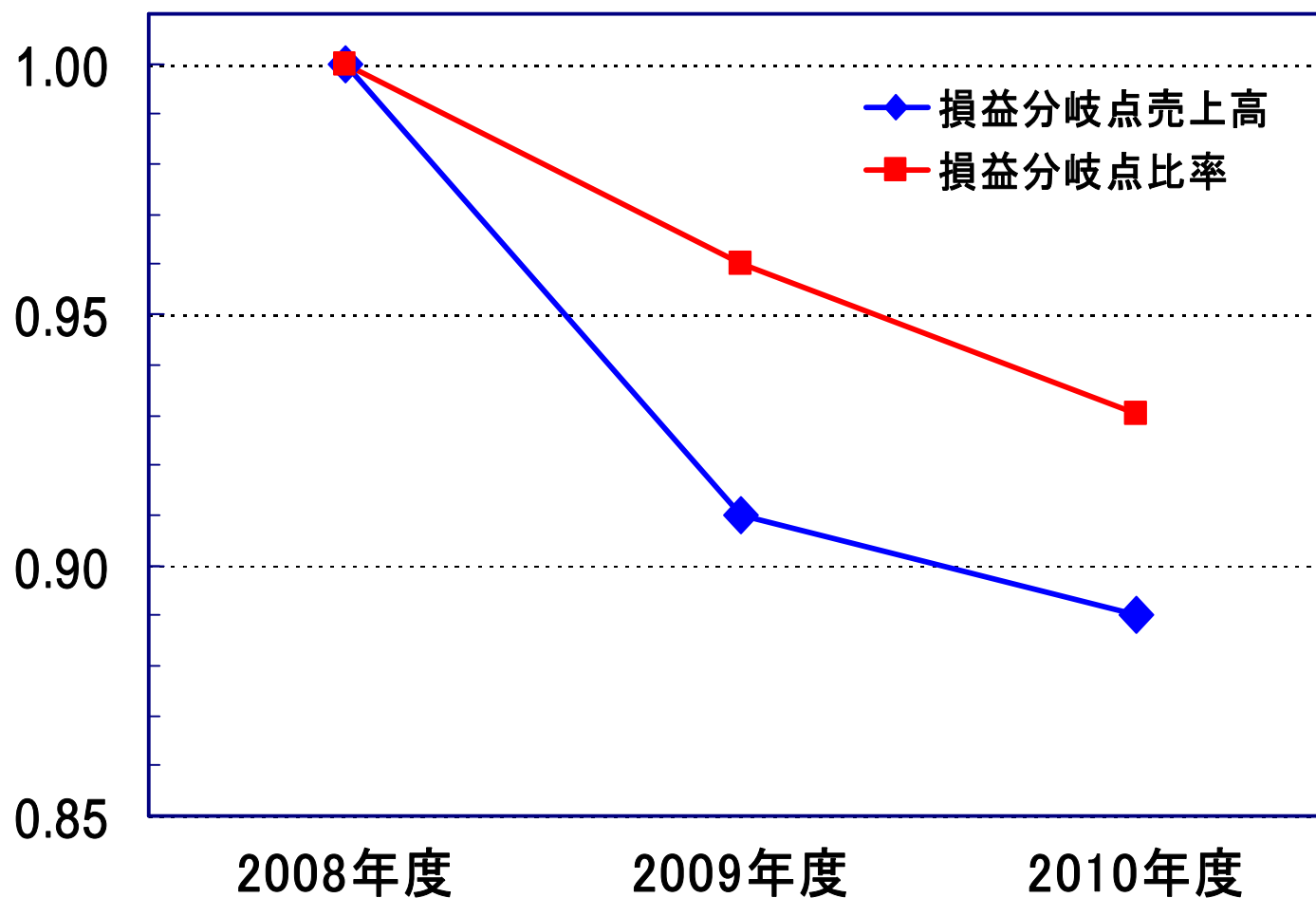
# 高付加価値商品の実績・計画(基幹事業)



①基幹事業の収益力強化

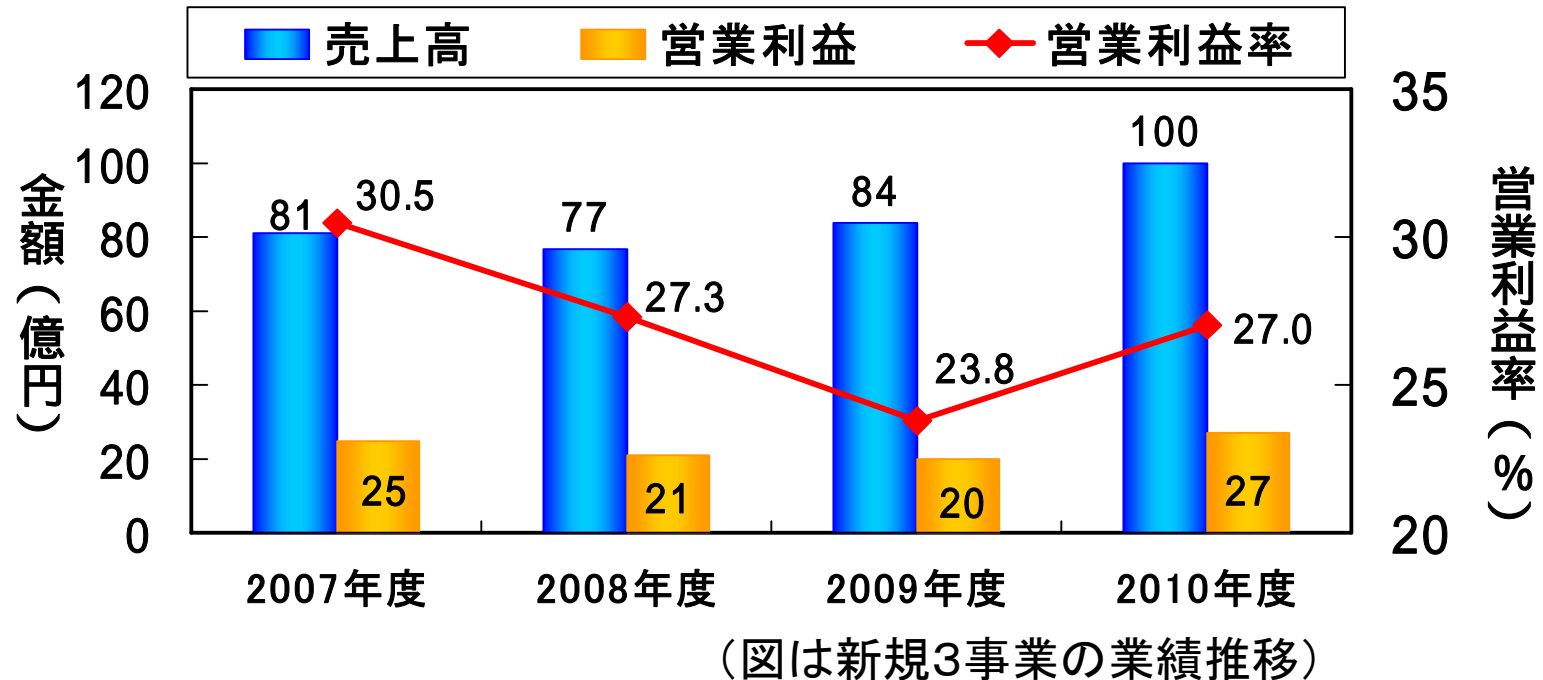
## 損益分岐点推移(基幹事業)

(2008年度を1とする指数)





## ②新規事業の成長促進



### 2009年度の状況

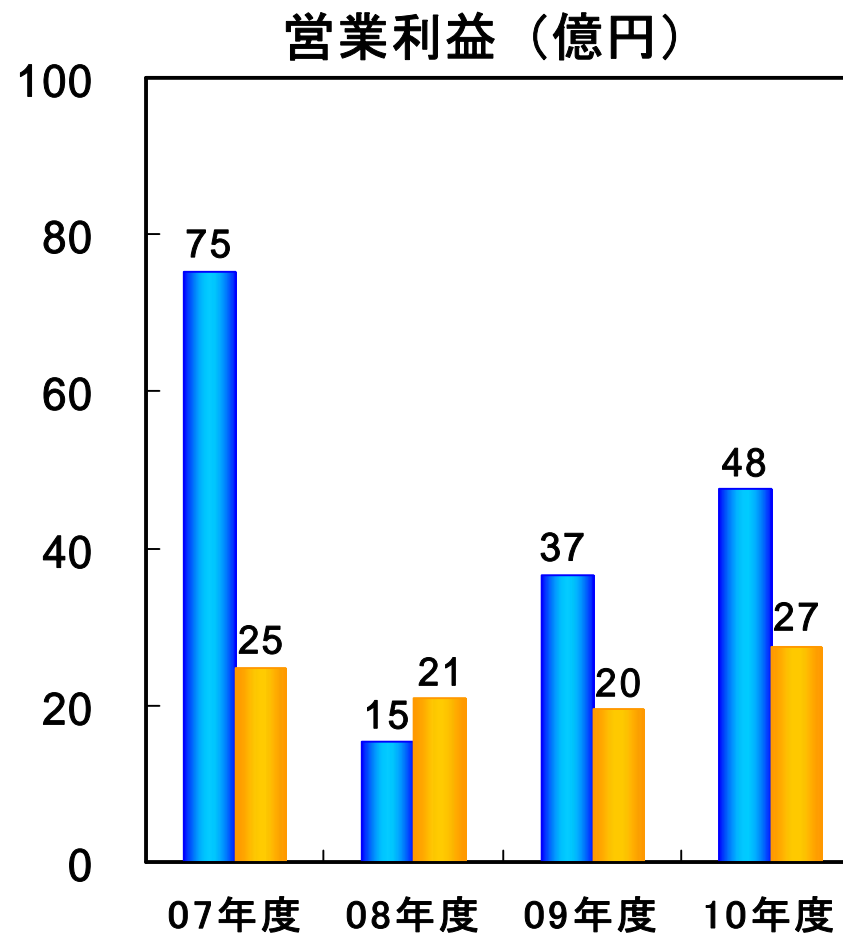
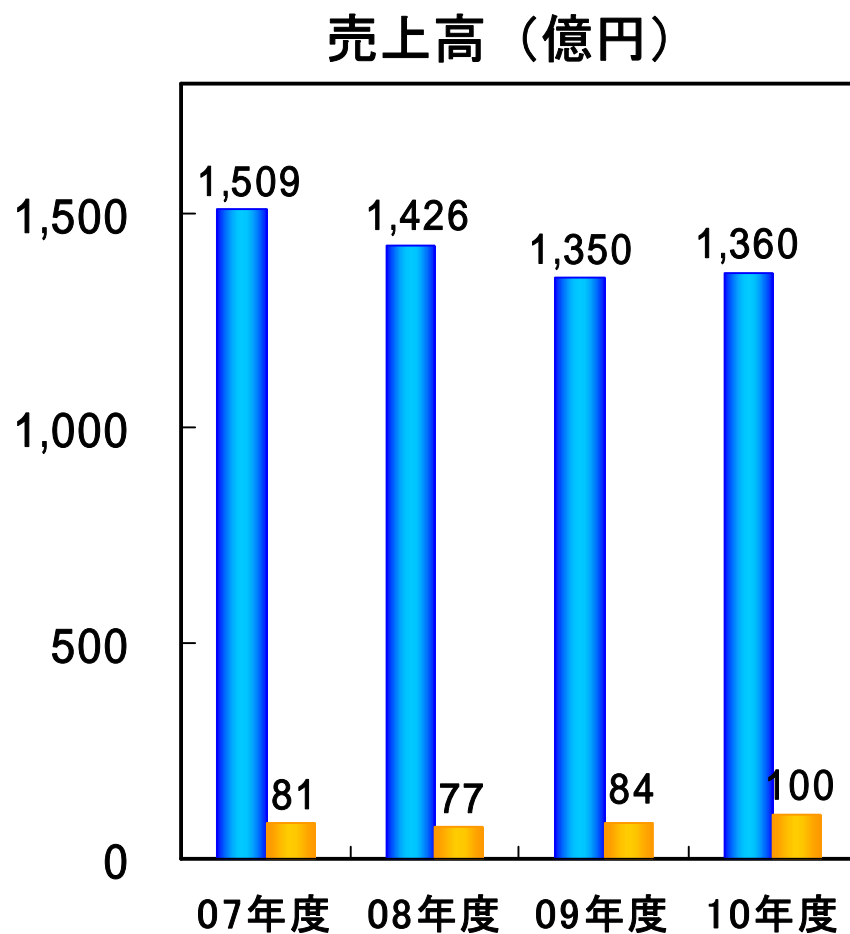
- 円高による採算性悪化
- ②欧米不況による開発スピード鈍化
- 新規開発品採用の遅れ

### 2010年度の施策

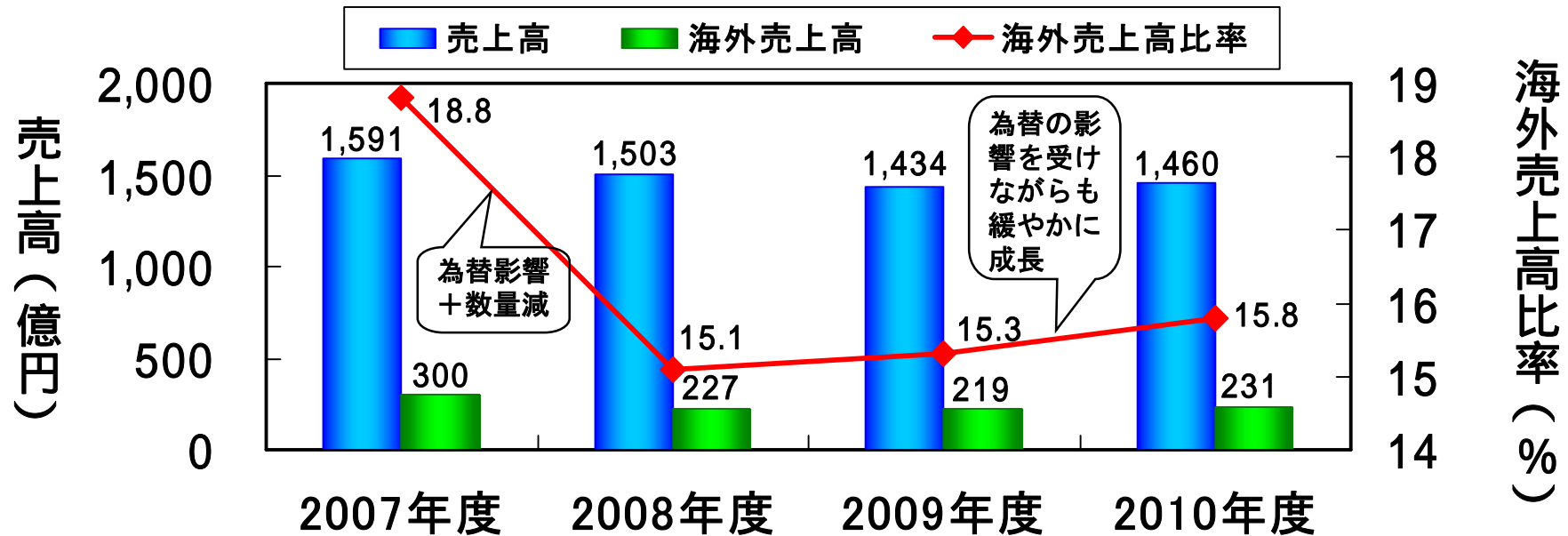
- 未開拓ユーザーへのアプローチ
- 新規開発品上市の促進
- ③海外を含む産官学との連携・技術導入

## ②新規事業の成長促進

# 基幹・新規の業績推移



# 海外展開の加速



## 2009年度の状況

不採算品からの撤退  
 営業・技術サービス力の強化  
 海外市場の開拓

## 2010年度の施策

中国市場での事業拡大  
 ②欧米における営業力の強化  
 ③新規開発品の上市

### ③海外展開の加速

## 海外向け拡販製品

青:既存材料 赤:新規材料

分野	商品	市場
ライフサイエンス	化粧品用:機能性素材	中国・韓国
	医薬用:活性化PEG・新規修飾剤	欧米
	医薬用:核酸治療用脂質	欧米
	コンタクトレンズ用:シリコンレンズ素材	欧米
電子・情報	薄型テレビ用:機能フィルム	中国・韓国
	液晶ディスプレイ用:オーバーコート剤	中国・韓国
環境・エネルギー	家電用:環境対応型冷媒用潤滑油	中国
	太陽発電パネル用:樹脂用架橋剤	中国
	自動車部品用:クロムフリー防錆剤	中国
	自動車部品用:高性能・省エネ型防錆剤	欧米
その他	合成樹脂用:有機過酸化物	中東

# ④次世代新事業の創出

(日油グループの目指す分野)

## ライフサイエンス分野

## 電子・情報分野

## 環境・エネルギー分野

新型ワクチン用材料

生体適合材料

医薬用修飾剤

再生医療用材料

医薬用安定剤

化粧品用材料

スキンケア製品

医療用栄養食

健康食品

食用油脂

脂肪酸誘導体

(メタ)アクリル酸誘導体

有機過酸化物

EO・PO誘導体

防衛用推進薬

産業用爆薬

RFID用タグ

光機能性材料

レジスト材料

ハイブリッド材料

機能フィルム

Liイオン電池用  
電解質材料

液晶用OC材

電解液用材料

固体Liイオン電池

トナー用添加剤

機能性エラストマー

花粉抑止剤

防錆処理剤

防曇塗料

冷凍機用潤滑剤

海洋開発機器

コア技術

新技術の開発

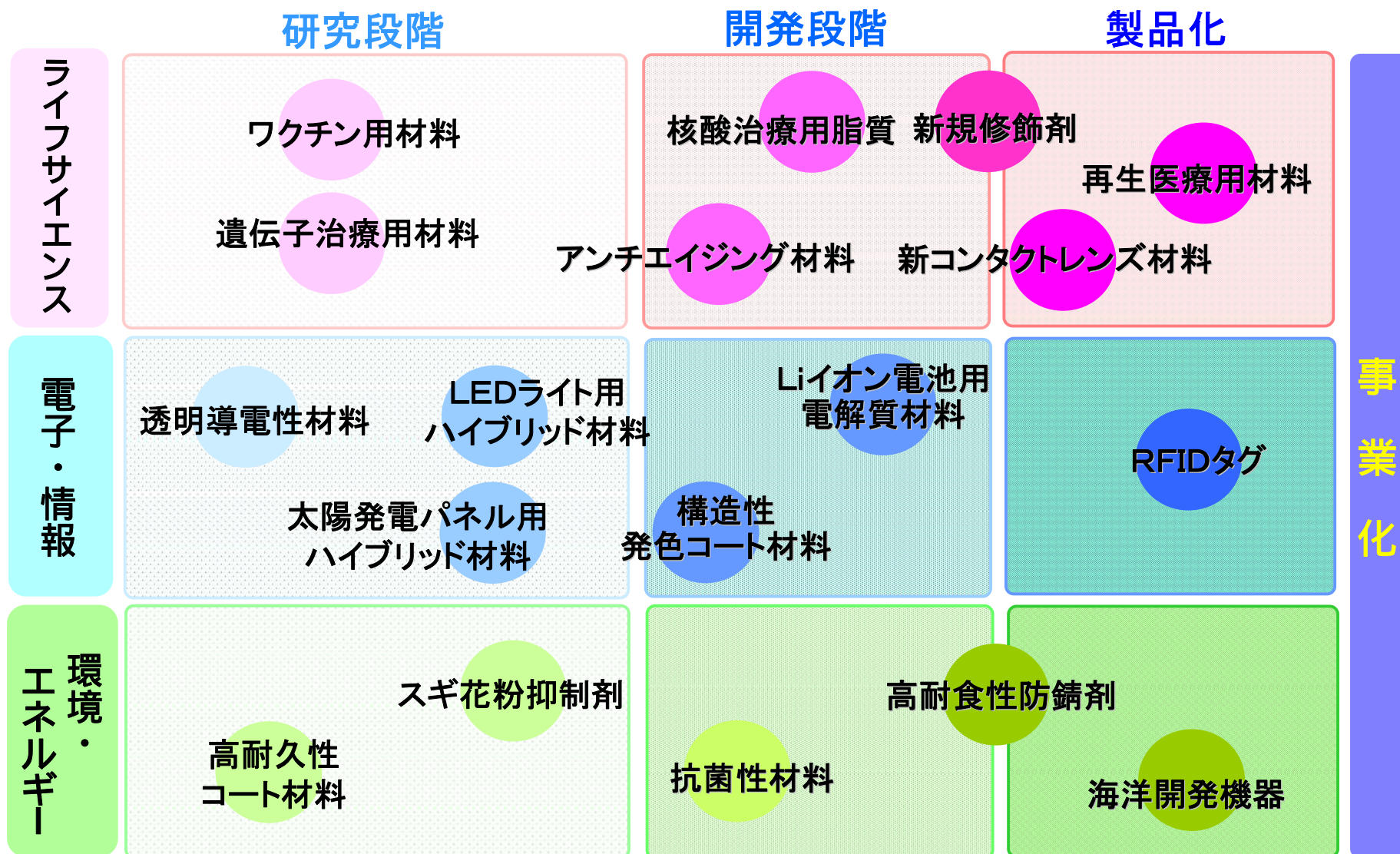
既存製品

新規開発品

次世代新製品

④次世代新事業の創出

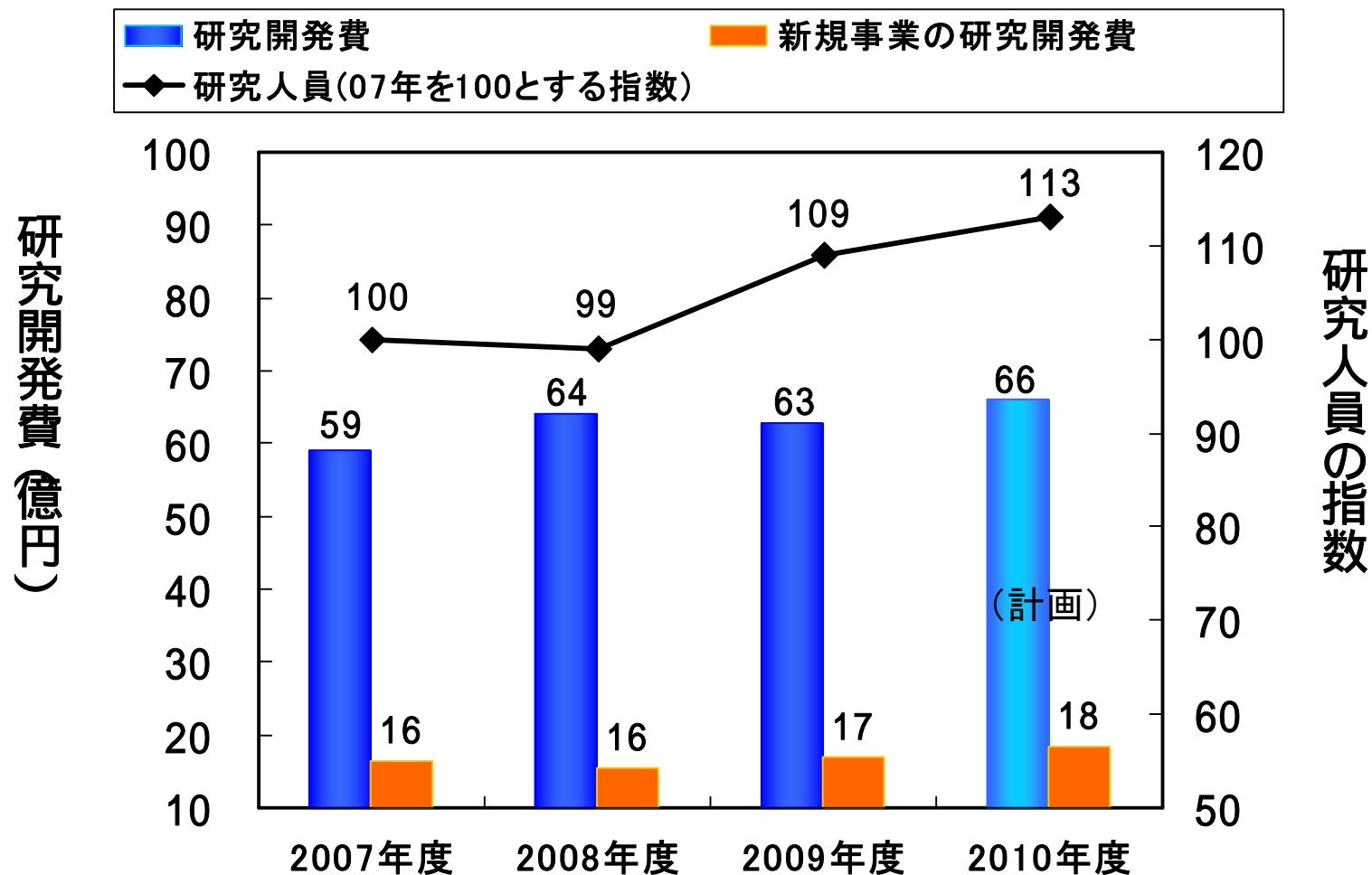
# 次世代新事業のアイテム





## ④次世代新事業の創出

# 研究開発投資の推移



# 人材育成の推進

## 専門性ある人材の育成

- 第一線の現場力の強化
- 事業推進力の底上げ
- 価値を創造する研究開発力の向上
- 海外展開に向けた国際感覚の醸成
- 日油グループ、大学・研究機関との人的交流



# コーポレート・ガバナンス

## 1. 内部統制の推進

- ①金融商品取引法対応
  - ・規定類の整備とリスクへのコントロールを徹底
  - ・内部統制監査：重要な欠陥なし
  - ・経営者による内部統制報告書で『有効』評価（6月：最終評価）
- ②倫理委員会、情報セキュリティ委員会等、各種委員会の委員長を取締役が担当し、企業活動に関する様々なリスク管理を強化
- ③社会規範と企業倫理に則った透明性の高い経営を行い、コンプライアンスの徹底を図る。

## 2. 環境・安全管理の強化

RC活動を通じ、環境安全、製品安全、設備安全、物流安全、労働安全衛生の5つの安全を徹底。

- ・本資料はあくまで弊社をより深く理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて弊社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ・本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。

お問い合わせ先 : 日油株式会社 経理部 (IR室 金万、根岸)  
住 所 : 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号  
電 話 : 03-5424-6651  
F A X : 03-5424-6803  
ホームページ : <http://www.nof.co.jp>

END